

## 大会宣言

日教組第114回定期大会において、全国各地から結集した代議員による熱く、活発な議論を経て、平和・人権・環境・共生を柱とした運動方針を決定しました。

学校現場については、子どもをめぐる課題解決や学習指導要領改訂における教育課程の抜本的見直しの必要性、改正給特法にかかわるとりくみが急務であることが討論されました。また、「高校授業料無償化」などの高校課題や長時間労働の是正、教職員不足の解消についても確認されました。単組・支部・分会でのとりくみとその成果も報告されました。子どもの人権が侵害される事件が後を絶ちません。学校や社会における子どもの人権侵害を断じて許さず、人権を基盤としたとりくみを強化します。子どもたちのゆたかな学びの保障と教職員のいのちと健康を守るとりくみはこれからが正念場です。私たちは教育、学校、職場を創り上げることができます。「学びたい思い、教えたいたい思い」にあふれる学校をめざし、全国連帯でとりくみをすすめます。

世界では、戦争や紛争により子どもを含む多くの市民が犠牲となっています。武力によって平和を実現するとして、軍備増強の流れは国内でも起こっています。戦後80年、「戦争のできる国づくり」が着々とすすめられている今、不滅のスローガン「教え子を再び戦場に送るな」をあらためて共有し、平和を追求します。不寛容で排外主義的な考え方が国内にも広がっていますが、私たちは「ともに生き、ともに学ぶ」ために、多文化共生社会の実現をめざします。

多くの単組から仲間づくりをすすめる報告がありました。職場を原点にした私たちの運動は、組合員一人ひとりが主役です。協力協働の職場とするため、分会会議の定例化・活性化にとりくむことが必要です。組合だからできること、組合の存在の重要性を様々な機会をとらえて伝え、語り合うことで組織拡大をすすめます。さらなる女性参画、ジェンダー平等にむけた討論もありました。私たちは、これまでの景色を変えるため、全国連帯で女性参画推進にとりくみます。

日教組は、2年後に結成80年を迎えます。憲法、子どもの権利条約の理念の実現や私たちが求める政策・制度要求実現にむけ、本日決定した運動方針のもと団結して運動をすすめます。

以上、宣言します。

2025年9月21日

日本教職員組合 第114回定期大会